



かまくら中の道(鎌倉古道)を歩く

本郷ふじやま公園古民家歴史部会 神田 恵仁

実施日:令和 4 年 9 月 7 日(水)

集 合:上永谷駅改札口

解 散:下永谷駅

行 程:上永谷駅→永谷天満宮→上永谷ふれあいの水辺→平戸永谷川遊歩道→般若寺
→下永谷市民の森→下永谷第二公園→鎌倉中の道(竹林)→下永谷駅

永谷天満宮

菅原道真が自ら彫った自分の像が祀られている。日本三體天神の一つ。

『天神様(菅原道真公)は、おとなしい白い牛を飼っていました。しかし、大宰府(だざいふ)へ左遷(させん)の発令とともにその牛の行方が不意に分らなくなります。

天神様はその牛の行方を心配していましたが、大宰府へお下りの途中、天神様は道明寺の門前で暗殺されそうになります。この時どこから現れたか刺客を蹴散らして天神様をお救いしたのが、他ならぬその白い牛でした。

このように、天神様と牛のつながりは大変深く、天神様をお祀りする神社には牛の像が多く見られます。永谷天満宮にも手水舎のとなりにひっそりと「神牛」がお座りになっています。

現在では学業成就を祈願する学生や、お子様の無事成長を祈願し「神牛像」の鼻を撫でる方が多く当宮へ来られます。』

(参考文献)『天神さまと上永谷』平成元年3月17日発行

平戸永谷川遊水地広場

2007年に完成した 6,240 m²の天然芝の張られた遊水地広場。多目的スポーツ広場として手利用されている。

神明社

西南戦争で戦死した下永谷出身の太津氏などの記念碑や、たくさんの石仏があります。

下永谷市民の森

広さ 61,000 m²の森に鎌倉古道(かまくら中の道)が通っています。市民の森は横浜市が管理・維持していますが、所有者は個人です。

今回ここで昼食をとりますが、ごみは必ず持ち帰り、来た時よりきれいにしてお帰りましょう。

鎌倉中の道(鎌倉古道)

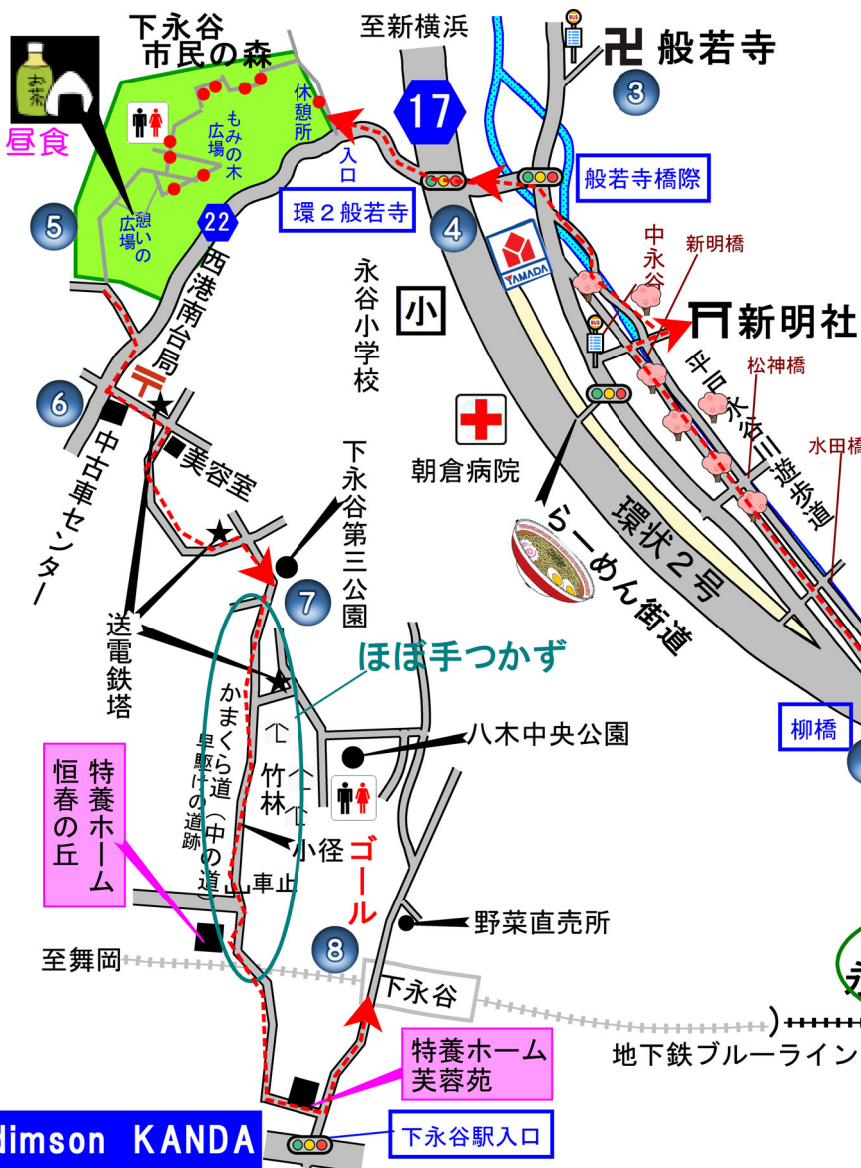
鎌倉古道とは幕府のある鎌倉と地方を結んだ幹線道路の総称。幕府の御家人が「いざ鎌倉」の際、素早くはせさんじるために整備された道路で、吾妻鏡には鎌倉往還、鎌倉路などと記されているが、江戸時代になると、鎌倉街道と呼ばれるようになり、その呼称が現在も各地で使われている。

鎌倉街道は上道(かみつみち)、中道(なかつみち)、下道(しもつみち)と、呼ばれる3本の幹線道路があり、ここから数多くの支道が枝分かれしていた。



第153回 古民家歴史探訪 (栄区周辺散策)

港南区編 かまくら中の道(鎌倉古道)を歩く 2022年9月7日実施



上永谷ふれあいの水辺



貞昌院



永谷天満宮の神牛像

総行程:5.0km

- ① 上永谷駅
- ② 800m
- ③ 柳橋
- ④ 1300m
- ⑤ 般若寺
- ⑥ 500m
- ⑦ 環2般若寺
- ⑧ 750m
- ⑨ 下永谷市民の森
- ⑩ 500m
- ⑪ 西港南台郵便局
- ⑫ 400m
- ⑬ 下永谷第三公園
- ⑭ 1150m
- ⑮ 下永谷駅

08-10
07-29
03-17
03-11
03-05

dimson KANDA

本郷ふじやま公園古民家歴史部会